

Singapore

シンガポールで

馬主

になろう！！





## →✦ シンガポールで馬主になろう ✦←



あなたは馬主になろうと思ったことはありますか？

競馬ファンの方でもそんなにいないかと思います。

超富裕層しかできないものだとずっと考えているからだと思います。

実際超富裕層しかできないわけではありません。

ここシンガポールでは・・・。

日本は馬主になるにもハードルがちょっぴり高いです。

2年連続して1800万円以上の年収がある人。

そして9,000万円の資産が2年連続してあること。

これらが条件となります。

シンガポールでは特にハードルがありません。

**あなたもシンガポールで  
馬主という新しい投資をしてみませんか？**



競馬は昔から日本では盛んに行われています。そしてここシンガポールでも競馬場が1つあります。克蘭ジ競馬場 Kranji Racecourseが正しい言い回しとなります。

毎週金曜日と日曜日に開催され金曜日はナイターで10レース、日曜日は12：50から12レースで行われています。国際レースはシンガポール航空インターナショナルカップとクリスフライヤーインターナショナルスプリント。日本の騎手や調教師などもこのシンガポールに多く訪れてレースに参加しております。

そこでなぜこのE-BOOKの中で競馬のことを書かせて頂いたかといいますと、

**シンガポールはレースの賞金が非課税です。**



## →+ レースの賞金が非課税 →+



### ☆申告義務がない☆

ただでさえ安いシンガポールの税金ですが  
賞金は配当の枠にはいるのでしょうか？

### 「非課税です」

この非課税は非常に意味が大きいです。

レース馬を所有するにはやはり経費が掛かります。

日本の場合、その経費を税務署が認めてはくれるものの、大きく賞金  
を稼いだ時は

『あ～、税金で持ってかれる～。手残りは差ほどないな～』  
とはなりません。

当然シンガポールは非課税なので馬の購入代金、厩舎に毎月支払う経  
費等は当然認められません。

- ◆税金が高いものも経費が認められる日本で馬主になるのがいいのか？
- ◆また完全申告義務がないシンガポールで馬主になった方がいいのか？

あなたならどちらを選びますか？



賞金は無税。申告義務がない  
馬の納入代金の5%が還付される(法人の場合)  
購入資格者の義務は特にない



2年連続で1800万円以上の所得がある事  
2年連続で9000万円以上に資産がある人  
賞金はすべて課税対象  
馬の購入費諸経費などは税務上経費扱い



まずはイメージをしてみましょう！！  
購入までの流れ！！



◆1頭55,000SGDぐらいから購入が可能 (1SGD=65円)  
もちろん上は数千万まであります。上は霧がありません。  
有名な親のDNAで結果をちゃんと出してくれる確率は7頭に1頭だそうです。  
高い馬を買ったからといって確実にTOP戦線で勝つとは限りません。

◆国外から購入した場合約20,000SGDの輸送費が掛かります。  
国外から購入した場合、約5%税金が還付されます(法人の場合)

◆リクエスト購入が可能

例えば何歳馬、例えば購入後すぐレースに出れる馬、レースをすでに経験している馬、例えば長くレースに出れる馬 etc リクエストに応じてこちらからでPickupしてまいります。

◆厩舎代 1頭あたり月/3,000SGD

この厩舎代金には、調教費や獣医の費用が含まれています。

◆共有が可能

10人まで共有が可能です。お友達を共有して頂いてもかまいません。

また他人同士になりますが募集を掛けさせて共有して頂くことも可能です。

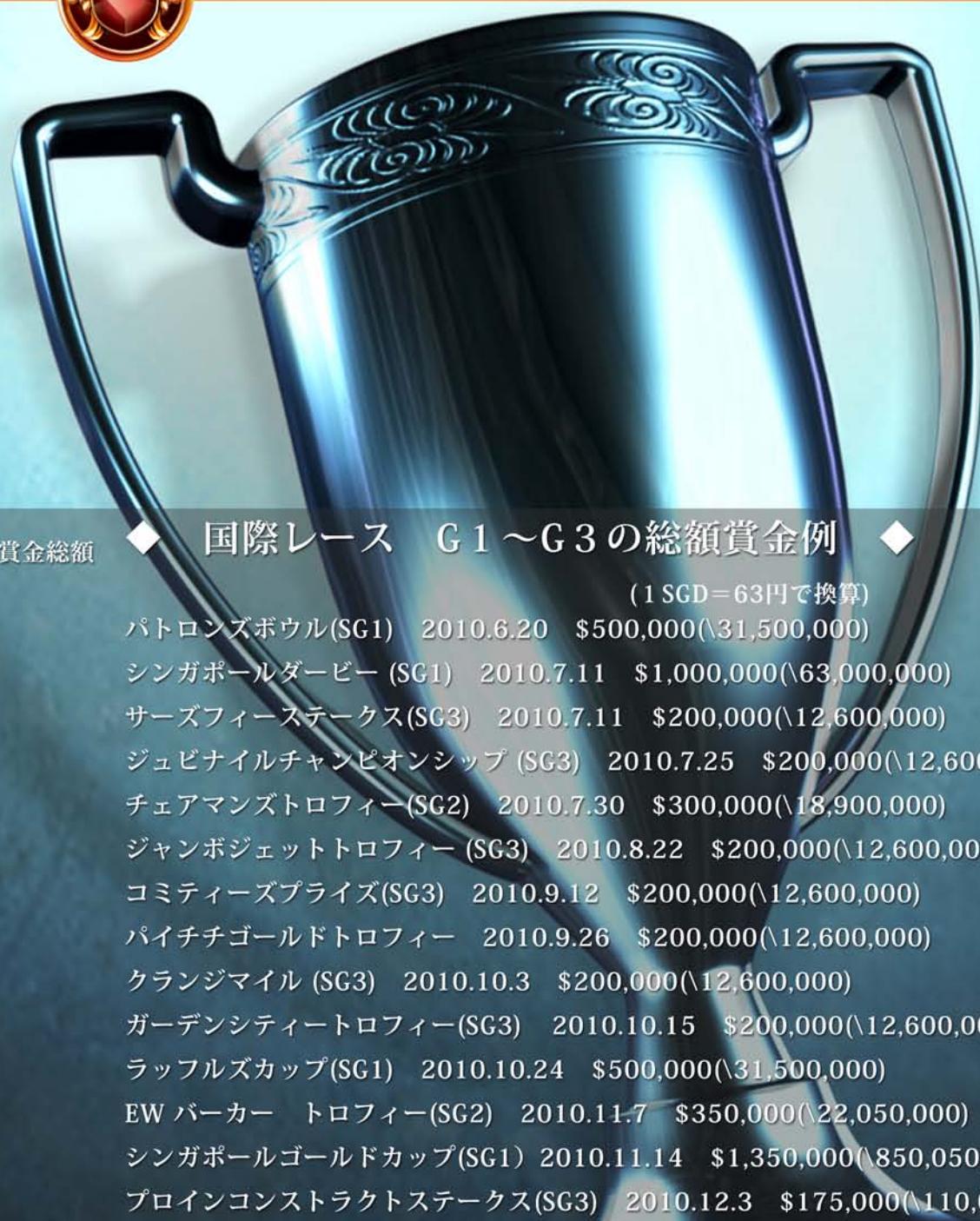
◆サポートの内容

- ・毎週厩舎からの馬の体調を聞きだしレポートとして送ります。
- ・レースの予定や結果を送らせて頂きます。
- ・売り馬の情報の提供をし続けます。





# 賞金について



国際レース及びGクラスレースを除き、一般的に行われているレースの賞金総額

◆Class1/Kraji StakesA	125,000SGD
◆Class2/Kraji StakesB	95,000SGD
◆Class3/Kraji StakesC/Progress	75,000SGD
◆Novic/Graduation	65,000SGD
◆Restricted Maiden/Initiation	65,000SGD
◆Class4	55,000SGD
◆Class5	35,000SGD
◆Maiden	35,000SGD

※10%は出走手続き費用として引かれます。

1着の場合この48.25%が馬主がもらえる金額です  
2着の場合この17.00%が馬主がもらえる金額です  
3着の場合この 8.50%が馬主がもらえる金額です  
4着の場合この 4.00%が馬主がもらえる金額です  
5着の場合この 2.00%が馬主がもらえる金額です  
6着の場合この 1.00%が馬主がもらえる金額です

## ◆ 国際レース G1～G3の総額賞金例 ◆

(1 SGD=63円で換算)

パトロンズボウル(SG1)	2010.6.20	\$500,000(\31,500,000)
シンガポールダービー (SG1)	2010.7.11	\$1,000,000(\63,000,000)
サーズフィーステークス(SG3)	2010.7.11	\$200,000(\12,600,000)
ジュビナイルチャンピオンシップ (SG3)	2010.7.25	\$200,000(\12,600,000)
チェアマンズトロフィー(SG2)	2010.7.30	\$300,000(\18,900,000)
ジャンボジェットトロフィー (SG3)	2010.8.22	\$200,000(\12,600,000)
コミティーズプライズ(SG3)	2010.9.12	\$200,000(\12,600,000)
パイチチゴールドトロフィー	2010.9.26	\$200,000(\12,600,000)
克蘭ジマイル (SG3)	2010.10.3	\$200,000(\12,600,000)
ガーデンシティートロフィー(SG3)	2010.10.15	\$200,000(\12,600,000)
ラッフルズカップ(SG1)	2010.10.24	\$500,000(\31,500,000)
EW バーカー トロフィー(SG2)	2010.11.7	\$350,000(\22,050,000)
シンガポールゴールドカップ(SG1)	2010.11.14	\$1,350,000(\85,050,000)
プロインコンストラクトステークス(SG3)	2010.12.3	\$175,000(\11,025,000)





# レース出場目安

毎週2回競馬が開催されていますが、実際に馬が走れる限度は月に2回です。  
もちろん無理やり3回出して下さい、は可能ですがお勧めしません。

レース 1回出場しますと、最終着と1着以外は参加賞で1レース900SGDが給付されます。  
月2回の出場目安ですので1800SGDが参加賞として頂けます。(最終着にならない場合)  
厩舎代が毎月3,000SGD掛かりますので毎月1,200SGDから3,000SGDはランニングコストがかかります。  
(レースに出るたびにビリかビリ2の場合)

シンガポール競馬の賞金目安は南関東競馬程度であり、預託料は北海道競馬程です。  
出走手当こそ金額が小さいですが、1勝すると5月分以上の預託料が賄えるということで、  
今、地方競馬より優れた賞金体系となっており賞金に課税がないことから徐々に人気が上がってきています。



# 投資目安



## プランA 初期費用 (仮に馬を60,000SGDとします)

・厩舎への1年分の支払い	・・・36,000SGD	年間
・当社とのサポート料	・・・・6,000SGD	年間
・馬の購入代金	・・・・・60,000SGD	1回
・輸送費	・・・・・25,000SGD	1回
・契約手数料5%	・・・・・3,000SGD	1回
・Total	・・・・・125,000SGD	

(約812万円 1SGD=65円)

## プランB 初期費用 (仮に馬を60,000SGDとします)

・厩舎への6か月支払い	・・・24,000SGD	6ヵ月
・当社とのサポート料	・・・・4,000SGD	6ヵ月
・馬の購入代金	・・・・・60,000SGD	1回
・輸送費	・・・・・20,000SGD	1回
・契約手数料5%	・・・・・3,000SGD	1回
・Total	・・・・・111,000SGD	

(約725万円 1SGD=65円)

※初期費用として年間登録費 570SGD 馬登録費50SGD ジョッキー衣装70SGD 衣装登録50SGD などがかかります。

また、シンガポール国内で馬の購入をした場合は輸送費はかかりません。

毎月かかる経費は6か月払い、年払いのどちらかとさせていただきます。賞金の受け取り口座としてシンガポールに銀行口座を持つことが条件です  
シンガポールに一度も来ないでの契約はご遠慮ください。2頭目3頭目は大丈夫です





E-BOOK『シンガポールで馬主になろう！！』はいかがでしたか？

ご注意頂きたいのは シンガポールでは賞金が非課税ですが日本の非居住者でない方は賞金は日本で申告しなければなりません。

『なんだ〜』と言う方もいらすと思いますが全く節税効果がないわけではありません。

海外で稼いだ賞金の消費税は非課税です。将来消費税が上がる事が確定していますね。ここは合法で消費税の節税が可能です。

会社の利益が出ているので購入した場合はどうなるか？

例えば1000万円でシンガポールで競走馬を購入。一度に経費として1000万円は認められませんが競走馬の償却は4年なので250万円は経費として認められます。

賞金はシンガポールの銀行口座で頂き、きっちり日本で申告する。(金銭の移動はしなくていいです)

消費税は非課税なので全くの節税効果がないとも言いきれません。(個人同様)

レース結果はノミ行為を防止のため日本では生中継では見れませんが1時間遅れでネットで観ることは可能です。会社で所有して会社名にちなんだ馬のネーミングをして社員一同で応援したりするのも面白いかと思います。勿論個人で所有して子供の名前にしたりして、家族で応援するのも楽しいですね。

『シンガポール視察ツアー』に参加して頂けたら厩舎や馬主席にご案内致します。

各自が競走馬によるシナジー効果を利用して、シンガポールで馬主というステイタスを堪能しましょう。

馬のご紹介希望の方は下記へ登録宜しく申し上げます。定期的に売馬情報をメールさせていただきます。



E-MAIL : [info@singaportal.net](mailto:info@singaportal.net)